

# 安全人報誌

安衛委 No112  
平成23年4月5日  
安全衛生推進委員会

## 原発事故なぜ起きた

福島第1原子力発電所での事故が起きて、半月が過ぎようとしているが、未だ終息の見通しが立っていない。原発周辺の土壌や作物だけではなく、今度は大量の放射能を含んだ汚水を海に捨てることになってきた。原子力保安委員は濃度が薄まり、魚介類を食しても数値的には低く問題はないとしているが。

原子力発電所では、2重の安全対策を施していたが、事故を起こしてしまえば何重の安全対策を講じていても、言い訳にしかならない安全性について、内部告発も数件あったようだが、うやむやにされていたと報道されていた。

危ないと思つたらすぐに直し、みんなに周知していくことが大切ではないだろうか



## 特定元方事業者等の事業開始報告

安全衛生規則六六四条に、特定元方事業者は、その労働者及び関係請負人の労働者の作業が同一の場所において行われる時は、当該作業の開始後、遅滞なく、次の事項を当該場所を管轄する労働基準監督署に報告しなければならない

- ① 事業の種類並びに当該事業場の名称及び所在地
- ② 関係請負人の事業の種類並びに当該事業場の名称及び所在地
- ③ 法第一五条規定により統括安全衛生責任者を選任しなければならない時は、その旨及び統括安全衛生責任者の氏名

全衛生責任者の氏名等を記載して郡山労働基準監督署に提出してはいますが、使用労働者の数が常時一〇人未満の場合などの現場については、報告を省略してもよいとされているため、報告をしておりませんので、監督署又他の機関で安全パトロール時に聞

かれた場合などはその旨話をしてください。  
変更などで、常時一〇人を超えるような場合は報告しなければなりませんので連絡下さい。

不安や焦燥感を感じていると思いません。今回の災害は未曾有の災害だと思ひます。かつて現存の人間が経験をしたことの無い、また記録にも残っていない大災害、人間は想定や体験をしていないことに対しては無防備だと思ひます。現場での事故もこれに当てはまるところがあるので無いですか。初めての現場や初めての作業、想定や経験のない作業だからこそ作業前の内容の周知、作業手順の遵守などによって事故を未然に防いでいけると思ひます。拙い話を長々と書いてしまいました。この大震災に対して私たちは今までこの土建屋という職業で飯を食

## 忘れることのない東日本大震災

今回は建築部長の国分雄浩さんにお願ひをしました。  
三月十一日午後二時四十六分、皆さんはこの現場でどんな作業をしていましたか？

おそらくこの時の事は一生記憶に残ることになったと思ひます。そして、この地震がこれほどの被害を及ぼすことになり、まして自分たちも被災者になろうとは、誰

も思ひていなかったでしょう。  
今回大きな問題となつては福島第一原発に、皆さんも一度は公私共々見学や視察に訪れたことがある場所ではないでしょうか。その原発が地震の影響でトラブルを起こし、放射能の影響を及ぼすことになるのは、大部分の人は同じ福島県の中にあつても遠い場所の出来事、対岸の火事と思ひていたと思ひます。

こんなに広範囲に被害が広がりました。私たちの実生活に影響を及ぼして

ながら少しでも復興に手助けが出来るのではないのでしょうか。  
今回の震災で被災された方々には謹んでお見舞い申し上げます。また、災害の犠牲になられた方々に、ご冥福をお祈りいたします。

